

石川中央都市圏の現況

Kanazawa
Hakusan
Kahoku
Nonoichi
Tsubata
Uchinada

石川中央都市圏の これまでの経緯

1 石川中央都市圏ビジョン | 圏域の特色・将来像



圏域の特 色

- ・豊かな自然
- ・日本海側拠点として都市機能が集積
- ・高等教育機関の集積
- ・伝統文化、歴史的なまちなみ 等

将来像

都市と自然、仕事と生活が調和する
“住みやすさ”日本一の圏域
～交流と連携により、全てのひとが
輝き続ける石川中央都市圏～



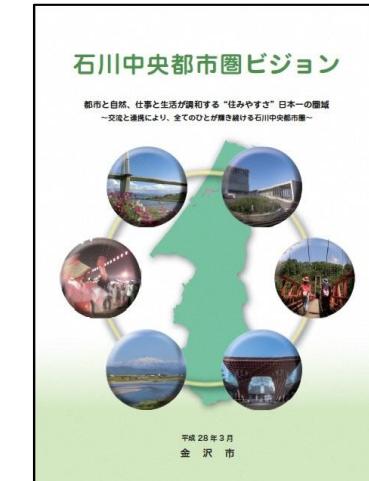
石川中央都市圏首長会議

連携協約締結式
(H28.3.28)

2 石川中央都市圏ビジョン | 計画期間

第1期

【計画期間】平成28年度～令和2年度



第2期

【計画期間】令和3年度～令和7年度



3 石川中央都市圏ビジョン | 連携する取組

3 つの方向性（連携協約）

1 圏域全体の
経済成長のけん引

- ・ 产学研官民一体となった経済成長の推進
- ・ 新規創業の促進及び地域産業の振興
- ・ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
- ・ 戦略的な観光施策の推進

2 高次の都市機能の
集積・強化

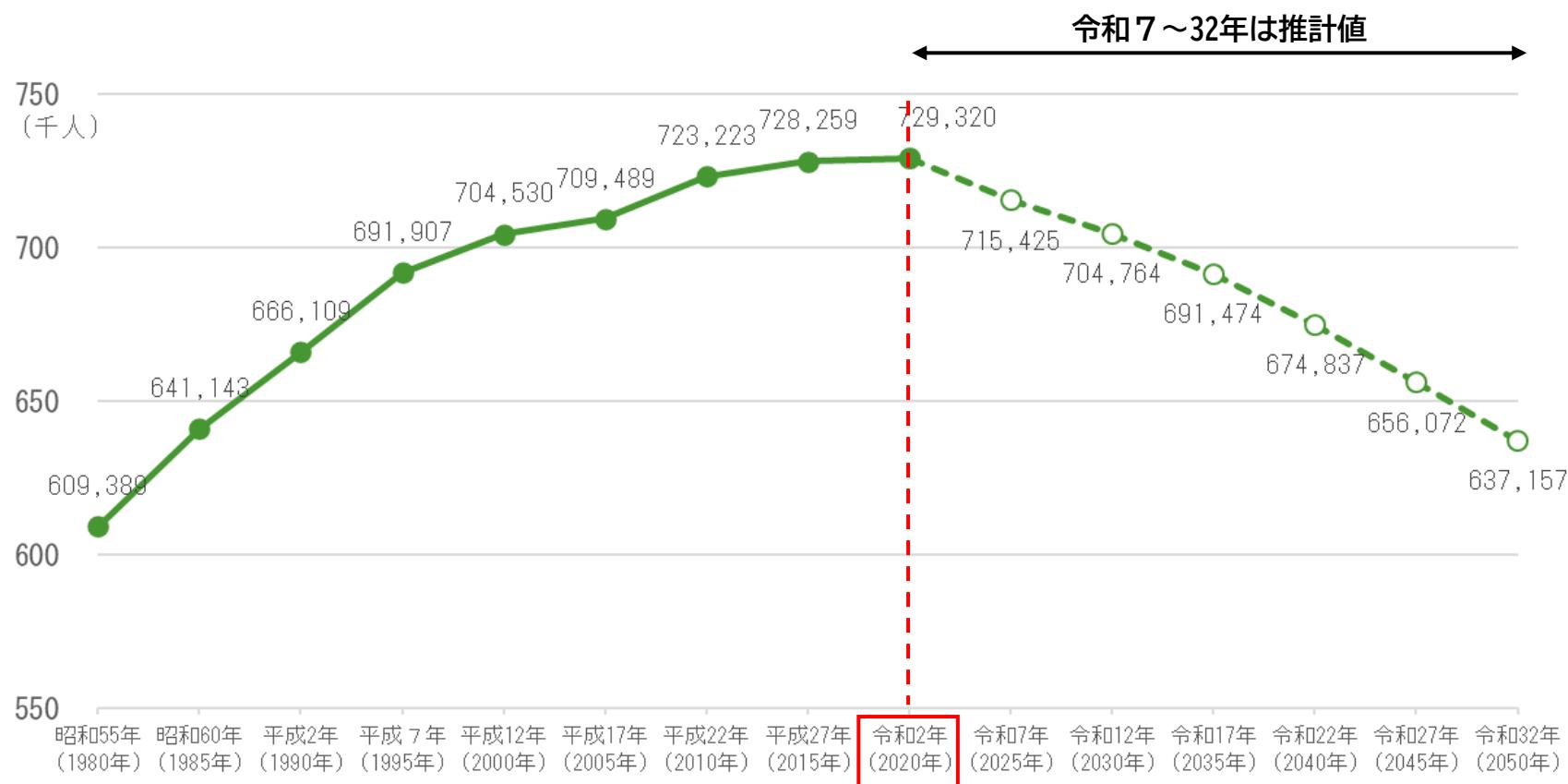
- ・ 高度な医療・救急サービスの提供
- ・ 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築
- ・ 高等教育・研究開発の環境整備
- ・ 地域医療及び介護・福祉サービスの充実
- ・ 教育・文化・スポーツの振興
- ・ 広域的な土地利用・地域振興
- ・ 災害対策
- ・ 環境対策
- ・ 地域公共交通の充実
- ・ 道路・ICT等社会インフラの整備
- ・ 地産地消の推進
- ・ 地域内外の住民との交流・移住促進
- ・ 人材の育成とネットワーク構築

3 圏域全体の生活関連
機能サービスの向上

石川中央都市圏の現況

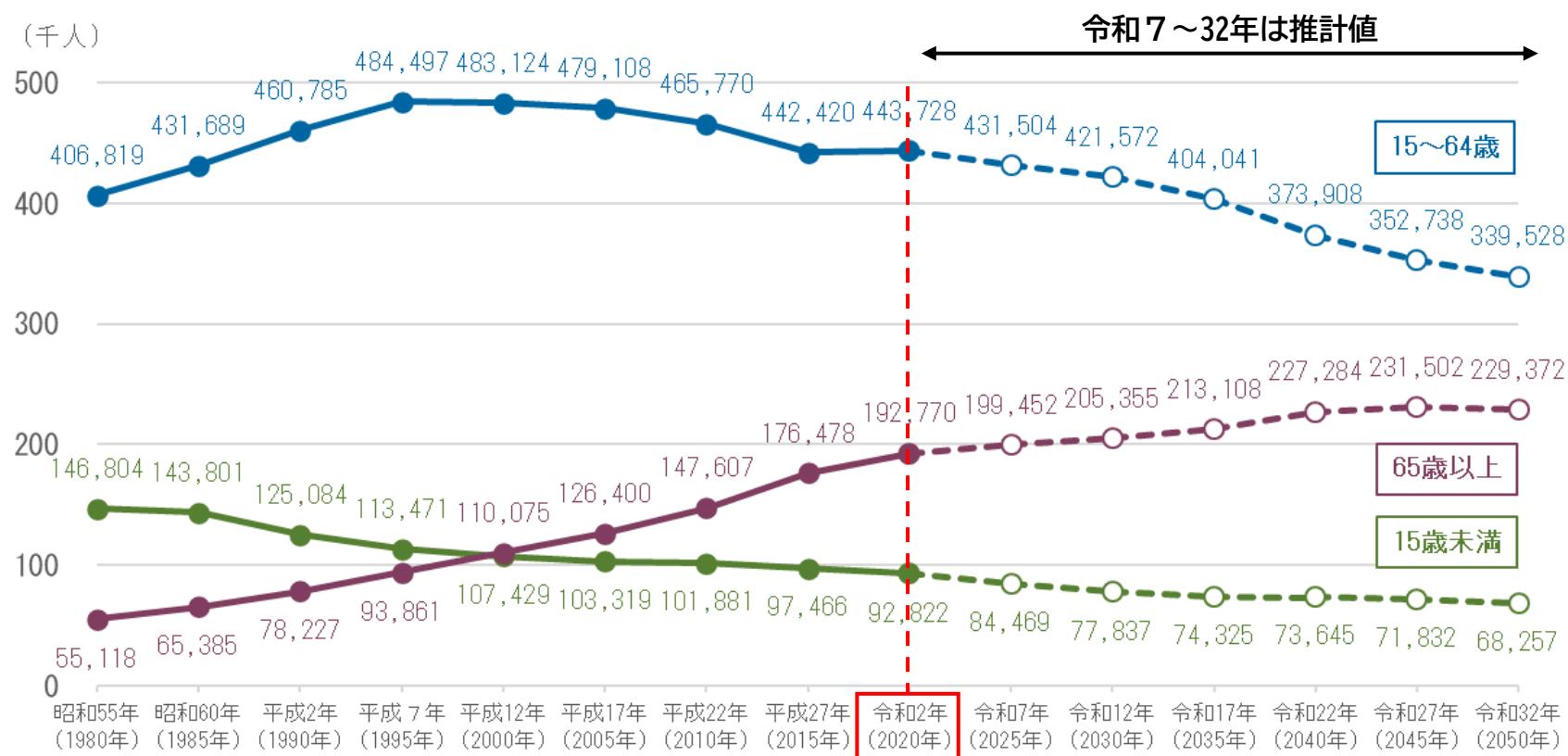
1 総人口の推移と将来推計人口

将来推計人口によると、圏域人口は令和2年を境に減少の見込み



2 年齢別人口の推移と将来の見通し

年少人口と生産人口は今後減少する見込みに対し、
老人人口は昭和55年以降増え続けている

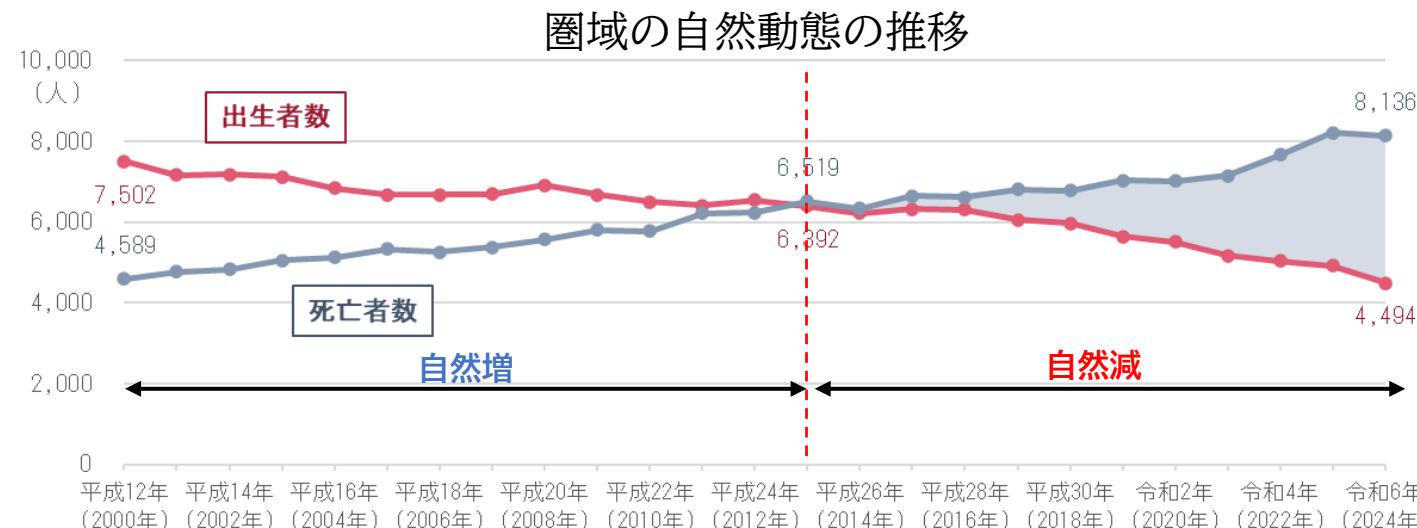


圏域年齢別人口の推移と将来の見通し

3 自然動態、社会動態の推移

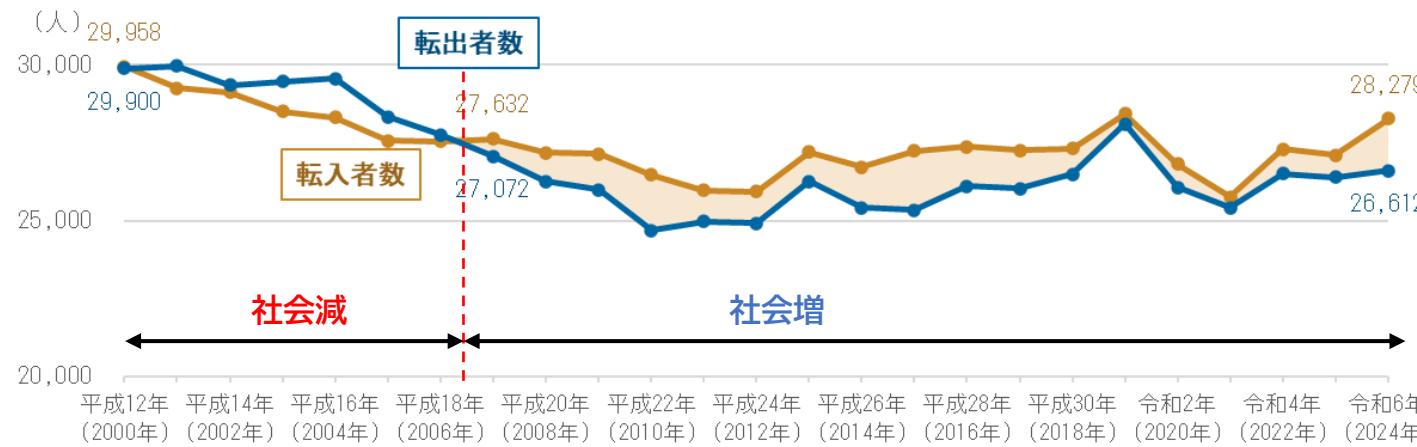
○自然動態

平成25年以降は死亡者数が出生者数を上回る自然減に転じ、年々差が増大している。



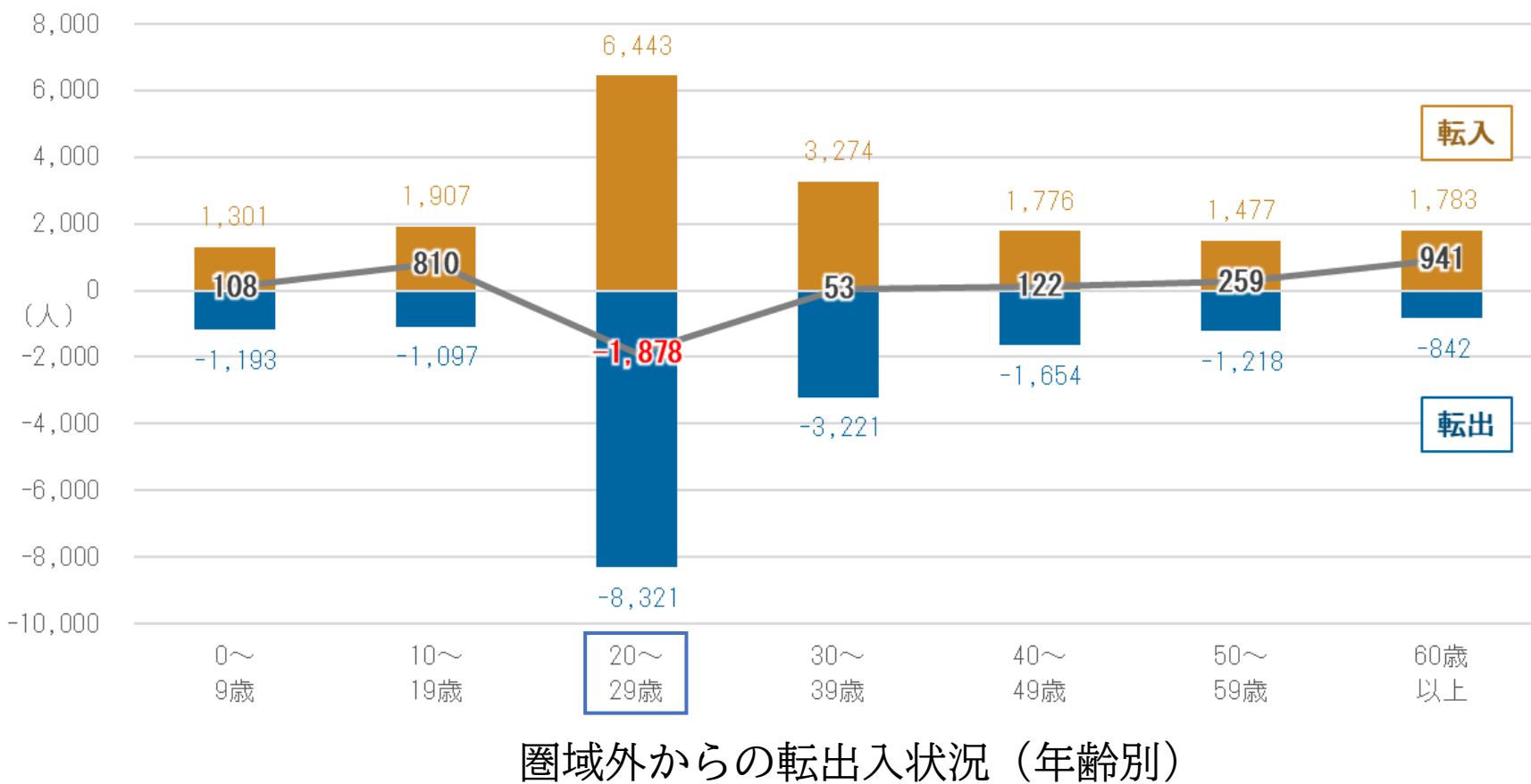
○社会動態

平成19年以降は転入者数が転出者数を上回っており、社会増が続いている。



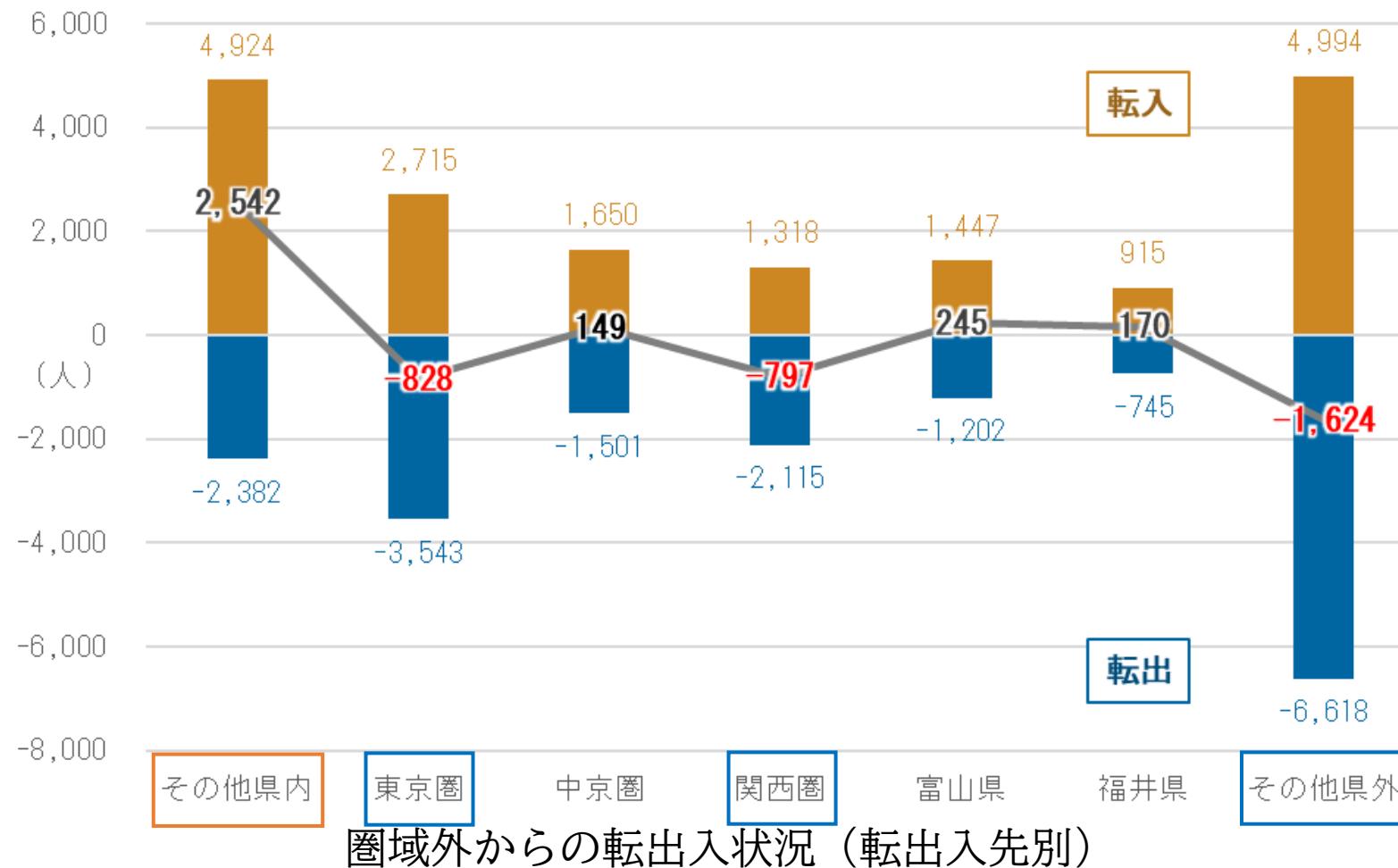
4 圏域外からの転出転入状況 年齢別

20代のみ転出超過となっており、若年層の定住促進が課題



5 圏域外からの転出転入状況 転出入先別

- ・県内からの転入が多い
- ・東京圏、関西圏、その他県外は転出超過



6 農業・工業・商業の1人あたり産出額等

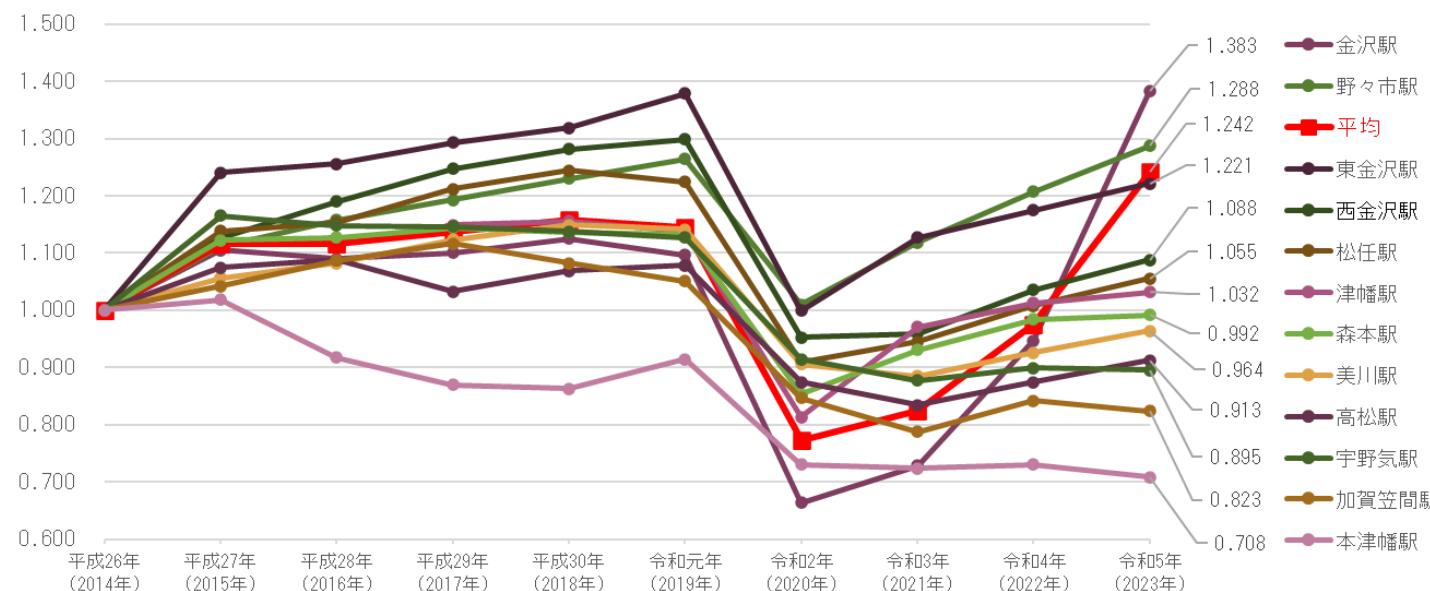
連携市町毎に特色や強みがあり、圏域全体としてバランスの取れた産業構造となっている。



農業・工業・商業の1人(農業は1戸)あたり産出額等

7 交通 | 鉄道

圏域の鉄道利用者は新型コロナウイルス感染症の影響により減少したが、平成26年時点と比較すると増加



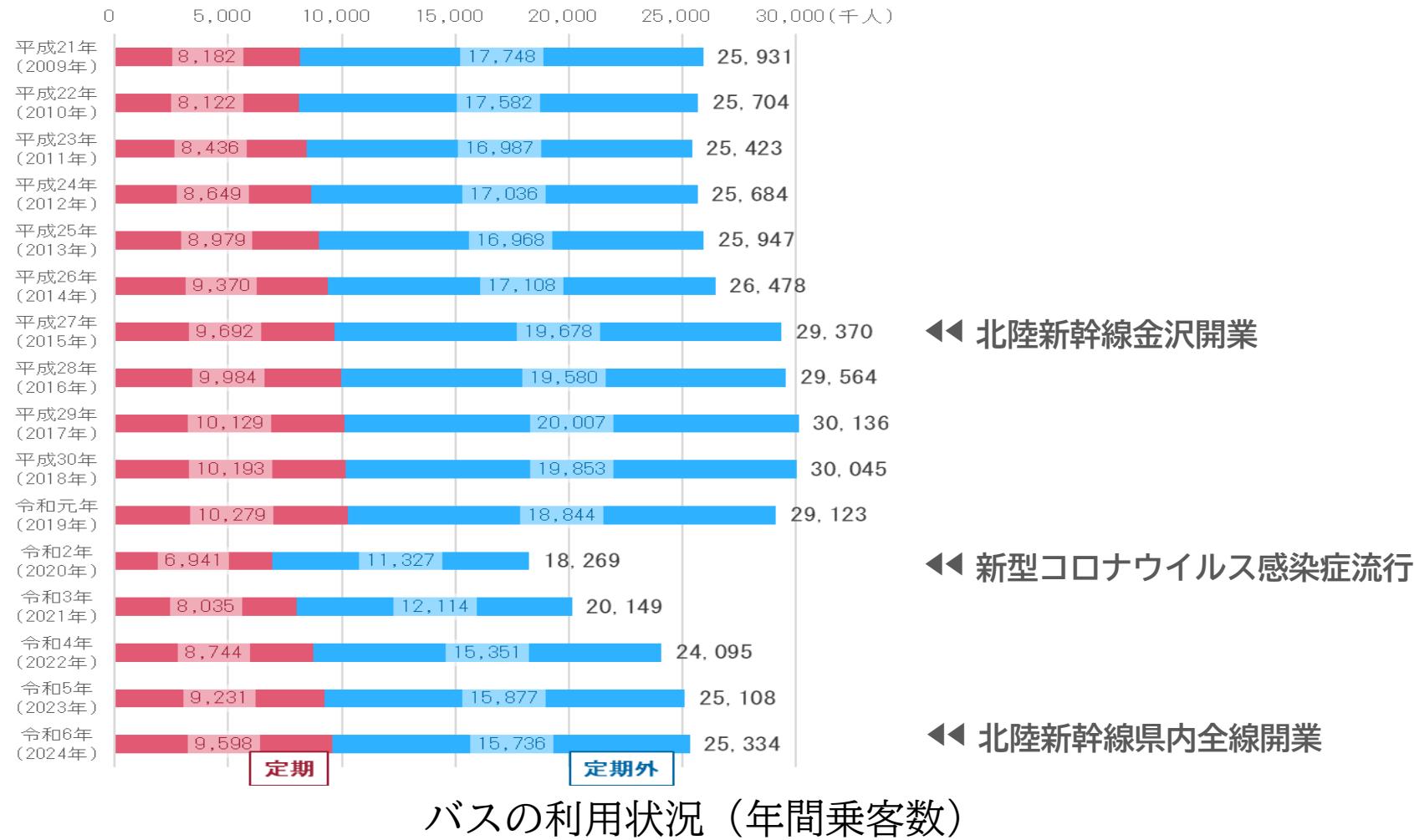
圏域内各駅の1日あたり乗車人数の増減率(平成26年を1とした値)



北陸鉄道線の1日あたり乗車人数の増減率(平成26年を1とした値)

8 交通 | バス

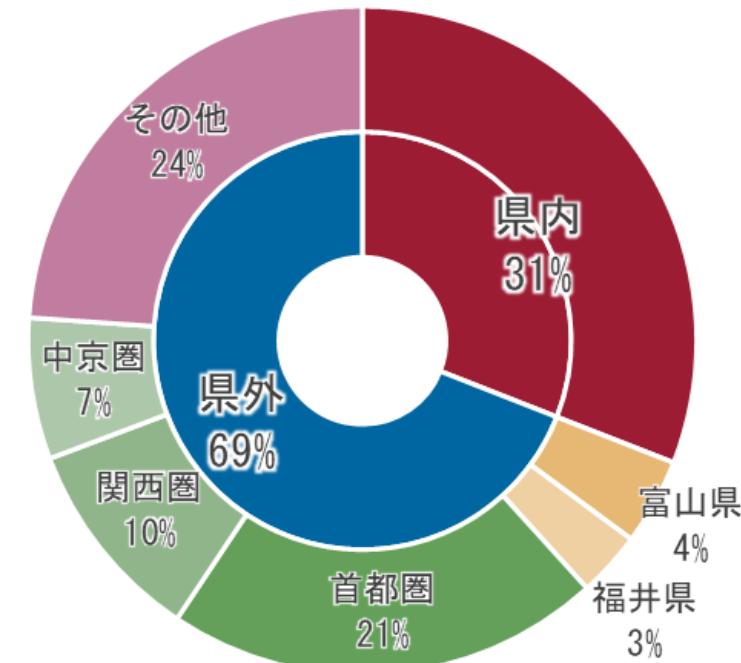
- 新幹線開業後に定期外利用が増加
- 新型コロナウイルス感染症による影響は回復傾向にある



9 観光入込客数

県外からの観光客が約7割を占め、
首都圏からの観光客が特に多い

首都圏：東京都、神奈川県、千葉県、
埼玉県、栃木県、茨城県、群馬県
関西圏：大阪府、京都府、兵庫県、
和歌山県、奈良県、滋賀県
中京圏：愛知県、岐阜県、静岡県、三重県



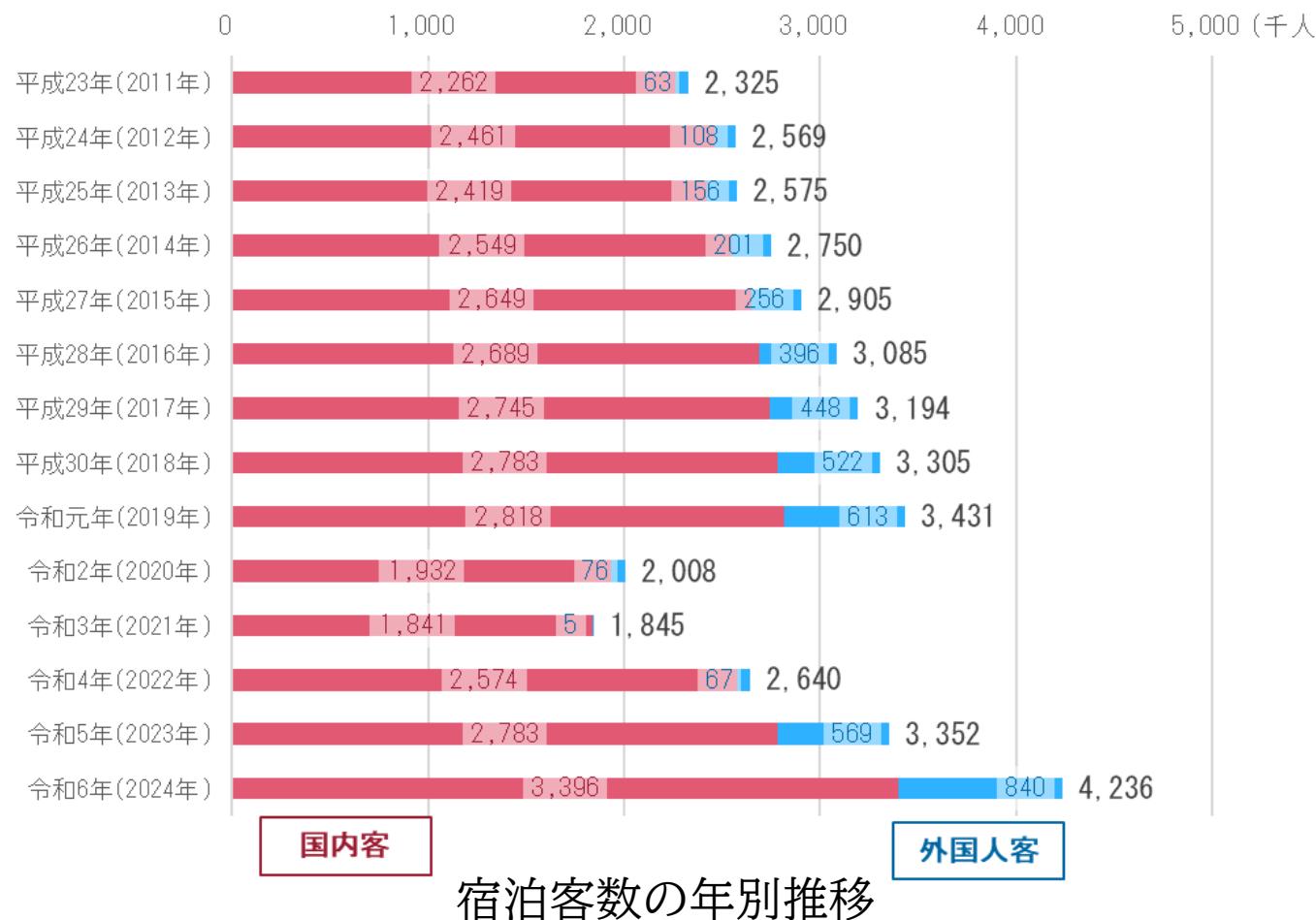
※金沢地域：金沢市、かほく市、野々市市、津幡町、
内灘町と白山市のうち旧松任市、旧美川町を含む範囲
白山地域：白山市のうち旧鶴来町、旧河内町、旧尾口町、
旧白峰村を含む範囲

	県 内	県 外						
		合計	富山県	福井県	首都圏	関西圏	中京圏	その他の
圏域合計	3,522	7,860	475	359	2,401	1,127	778	2,720
金沢地域	3,096	7,475	445	310	2,340	1,034	666	2,680
白山地域	426	385	30	49	61	93	112	40

発地別観光入込客数（千人）

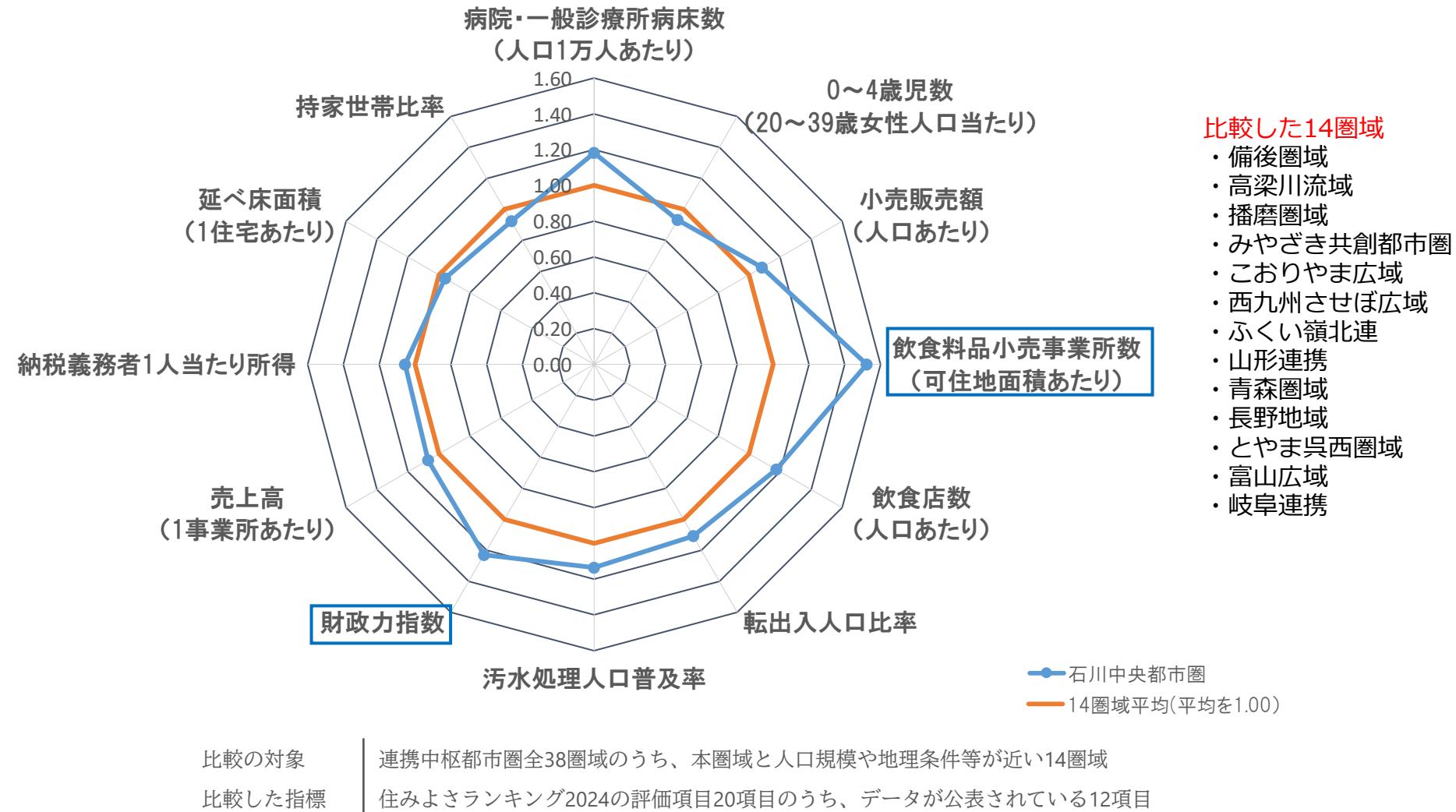
10 宿泊客数

- ・宿泊客数は増加傾向
 - ・令和5年以降は新型コロナの入国制限がなくなり、外国人観光客が急増



11 住みよさ 他圏域との比較

人口規模等が近い他圏域と比較して、全体的に指標は高く、特に、飲食料品小売事業所数や財政力指数などの指標が高い



現行ビジョンの進捗報告

第2期石川中央都市圏ビジョンの方向性

【I. 圏域全体の経済成長のけん引】	【II. 高次の都市機能の集積・強化】
I - 1 産学官民一体となった経済成長の推進 I - 2 新規創業の促進及び地域産業の振興 I - 3 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大 I - 4 戦略的な観光施策の推進	II - 1 高度な医療・救急サービスの提供 II - 2 高度な中心拠点の整備・ 広域的公共交通網の構築 II - 3 高等教育・研究開発の環境整備

【III. 圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

- III - 1 地域医療及び介護・福祉サービスの充実
- III - 2 教育・文化・スポーツの振興
- III - 3 広域的な土地利用・地域振興
- III - 4 災害対策
- III - 5 環境対策
- III - 6 地域公共交通の充実
- III - 7 道路・I C T等社会インフラの整備
- III - 8 地産地消の推進
- III - 9 地域内外の住民との交流・移住促進
- III - 10 人材の育成とネットワーク構築

【I. 圏域全体の経済成長のけん引】

- I-1 産学官民一体となった経済成長の推進
- I-2 新規創業の促進及び地域産業の振興
- I-3 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
- I-4 戦略的な観光施策の推進

▼事業の主な取り組み

- I-1 : ○石川中央都市圏移住プロモーション動画の作成
○SDGsカフェや住民向け出前講座の実施
- I-2 : ○創業マルシェや創業セミナーの開催
- I-3 : ○ブランド魚種の重点的なPRを図るため、
飲食店等と連携したフェアの開催
○河北潟HPを立ち上げ、河北潟干拓地の魅力の発信
- I-4 : ○マーケティング会議や会員向けセミナーの開催
○金沢市地域通訳案内士養成講座の実施
など

I 圏域全体の経済成長のけん引の進捗 (重要業績評価指標 (KPI))

I 圏域全体の経済成長のけん引

指標	目標値	当初値	最新実績値 (参考値)	達成
連携事業の数	100事業 (R7年度)	88事業 (R2年度)	101事業 (R7年度)	○
各種支援制度の活用による 創業件数 (累計)	240件 (R7年度)	126件 (R1年度)	617件 (R6年度)	○
圏域の農業産出額	193億円 (R7年度)	193億円 (H30年度)	171億円 (R5年度)	
観光入り込み客数	1,180万人 (R7年)	1,164万人 (R1年)	1,185万人 (R6年)	○
外国人宿泊者数 (金沢市)	82.1万人 (R7年)	61万人 (R1年)	84万人 (R6年)	○

「圏域の農業産出額」以外については、
既に目標を達成しており、圏域の経済成長に向けて一定の成果が得られている。

【Ⅱ. 高次の都市機能の集積・強化】

- Ⅱ-1 高度な医療・救急サービスの提供
- Ⅱ-2 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築
- Ⅱ-3 高等教育・研究開発の環境整備

▼事業の主な取り組み

- Ⅱ-1 : ○ I C Tを活用した画像伝送システムによる、
医師の初期判断迅速化、医療資源の効率的活用の実現
○透析システムや手術用顕微鏡等の高度医療機器の導入
- Ⅱ-2 : ○「みなし上下分離方式」の導入
○パーク・アンド・ライドの拡充や
キャッシュレス決済の導入拡大、
路線バスとコミュニティバスの接続改善
- Ⅱ-3 : ○都市生態系再生モデル都市に国内で唯一認定
○「石川中央都市圏☆グローバルE X P」の開催 など

Ⅱ 高次の都市機能の集積・強化（重要業績評価指標（KPI））

Ⅱ 高次の都市機能の集積・強化

指標	目標値	当初値	最新実績値 (参考値)	達成
圏域内医学部卒業者の圏域内就職率	当初値より増加 (R7年度)	29.5% (R1年度)	36.0% (R6年度)	○
JR金沢駅利用者数	当初値より増加 (R7年度)	23,410人／日 (H30年度)	28,767人／日 (R5年度)	○
北陸鉄道石川線・ 浅野川線の乗客数	3,700千人 (R7年度)	3,578千人 (R1年度)	2,753千人 (R6年度)	
外国人宿泊者数（再掲）	82.1万人 (R7年)	61万人 (R1年)	84万人 (R6年)	○
大学生等の県内就職率	50.0% (R7年度)	41.1% (R1年度)	43.9% (R6年度)	

目標値には達していない指標もあるが、「JR金沢駅利用者数」等はすでに目標値を大きく超えており、都市機能の強化に向けて順調に進んでいる。

【III. 圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

- III-1 地域医療及び介護・福祉サービスの充実
- III-2 教育・文化・スポーツの振興
- III-3 広域的な土地利用・地域振興
- III-4 災害対策
- III-5 環境対策

▼事業の主な取り組み

- III-1 : ○小児科の夜間及び休日の救急医療体制の確保
(「金沢広域急病センター」の運営)
○「いしかわ中央子育てアプリ」の共同運営
- III-2 : ○金沢マラソンの応援ステージにおいて、
各市町による特色ある応援の実施
○石川中央都市圏教育支援センター連絡会において、研修会を開催
- III-3 : ○河北潟干拓地ひまわり村における各種イベントの開催
○旧北国街道をめぐる歴史探訪イベントの開催
- III-4 : ○消防指令センターの共同運用の検討
○救急車の相互乗り入れなど、広域的な消防・救急体制の実現
- III-5 : ○河北潟周辺での水辺の生物観察や水質検査体験など
環境体験学習や美化活動の実施
○各市町で太陽光発電設備等の導入に対する補助金の実施 など 6

【III. 圏域全体の生活関連機能サービスの向上】

- III-6 地域公共交通の充実
- III-7 道路・I C T等社会インフラの整備
- III-8 地産地消の推進
- III-9 地域内外の住民との交流・移住促進
- III-10 人材の育成とネットワーク構築

▼事業の主な取り組み

- III-6 : ○新規の駐車場（商業施設駐車場）の隨時開設
 - 「カーフリーデー」の開催
- III-7 : ○圏域内の道路整備の促進（金沢外環状道路海側幹線の開通など）
 - 給水装置及び排水設備の工事事業者の指定事務等の一元化
- III-8 : ○ブランド魚種の重点的な P R のため、
 - 飲食店等と連携したフェアの開催
 - 河北潟 H P を立ち上げ、河北潟干拓地の魅力の発信
- III-9 : ○移住イベントに圏域として出展することによる移住促進
 - 県及び中央都市圏市町の協力による大規模マッチングイベントを開催し、婚活支援を実施
- III-10 : ○評価均衡を図るため、中央都市圏の固定資産税の
 - ワークショップを実施
 - 働く女性のネットワーク形成や女性ロールモデルの共有 など

Ⅲ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上（重要業績評価指標（KPI））

Ⅲ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

指標	目標値	当初値	最新実績値 (参考値)	達成
合計特殊出生率 (金沢市)	1.80 (R7年度)	1.48 (H30年度)	1.29 (R5年度)	
公立図書館における 総貸出冊数	4,524,000冊 (R7年度)	4,152,791冊 (R1年度)	3,455,257冊 (R6年度)	
河北潟干拓地ひまわり村 来場者数	30,000人 (R7年度)	23,435人 (R1年度)	19,300人 (R6年度)	
防災士資格取得者数（累計）	3,700人 (R7年度)	2,927人 (R1年度)	5,110人 (R6年度)	○
河北潟の化学的酸素 要求量（C O D）	5.0mg/l (R7年度)	5.4mg/l (H30年度)	7.3mg/l (R6年度)	
通勤時パーク・アンド・ ライド利用者数・台数	1,500人・台 (R7年度)	195人・315台 (R1年度)	655人・1,373台 (R6年度)	
北陸鉄道石川線・浅野川線 の乗客数（再掲）	3,700千人 (R7年度)	3,578千人 (R1年度)	2,753千人 (R6年度)	

Ⅲ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上（重要業績評価指標（KPI））

Ⅲ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

指標	目標値	当初値	最新実績値 (参考値)	達成
共通フォーマットで公開する オープンデータの件数	3,300件 (R7年度)	3,143件 (R1年度)	10,563件 (R6年度)	○
電子申請システムを利用した 業務数	360件 (R7年度)	179件 (R1年度)	2,128件 (R6年度)	○
圏域の農業産出額（再掲）	193億円 (R7年度)	193億円 (H30年度)	171億円 (R5年度)	
住宅支援制度の活用による 県外からの移住者数	410人 (R7年度)	286人 (R1年度)	218人 (R6年度)	
ふるさと納税件数	24,000件 (R7年度)	13,916件 (R1年度)	85,210件 (R6年度)	○
人口社会動態 (転入者－転出者)	+ 900人維持 (R7年)	+ 900人 (H28～R2年平均)	+2,050人 (R6年)	

「合計特殊出生率」や「河北潟の化学的酸素要求量」等、
目標値の達成率が低い指標はある一方、デジタル化に関する指標や
「防災士資格取得者数」や「ふるさと納税件数」などは目標を大きく超えており、
圏域の生活関連機能サービス向上に向けて順調に推移している。

石川中央都市圏を 取り巻く環境の変化

1 令和6年能登半島地震

令和6年1月 能登半島地震が発生



2 北陸新幹線県内全線開業

令和6年3月北陸新幹線県内全線開業

北陸新幹線県内全線開業について

令和6年
金沢-敦賀間 開業

125km

新高岡
金沢
富山
糸魚川
飯山
長野
上越妙高
黒部宇奈月温泉
白山総合車両所
小松
加賀温泉
芦原温泉
福井
越前たけふ
敦賀
小浜市附近(東小浜)
京都
新大阪
京田辺市附近(松井山手)
米原
名古屋
東海道新幹線

令和6年 北陸新幹線
金沢-敦賀間が開業

小松駅と加賀温泉駅が新たに開業
石川県内全線開業

時間短縮効果
約30分短縮!

金沢 - 新大阪

現行	約2時間30分
開業後	約2時間

金沢 - 名古屋

現行	約2時間30分
開業後	約2時間

3 ライフスタイルの変化

1. 働き方の多様化

- ・リモートワークの普及などによる
働く時間や場所を限定しない、多様化した働き方の拡大

2. デジタル化の加速

- ・オンライン会議やクラウドサービス、AIの活用が進み、
業務効率が向上
- ・教育や医療、行政サービスもデジタル化が進展

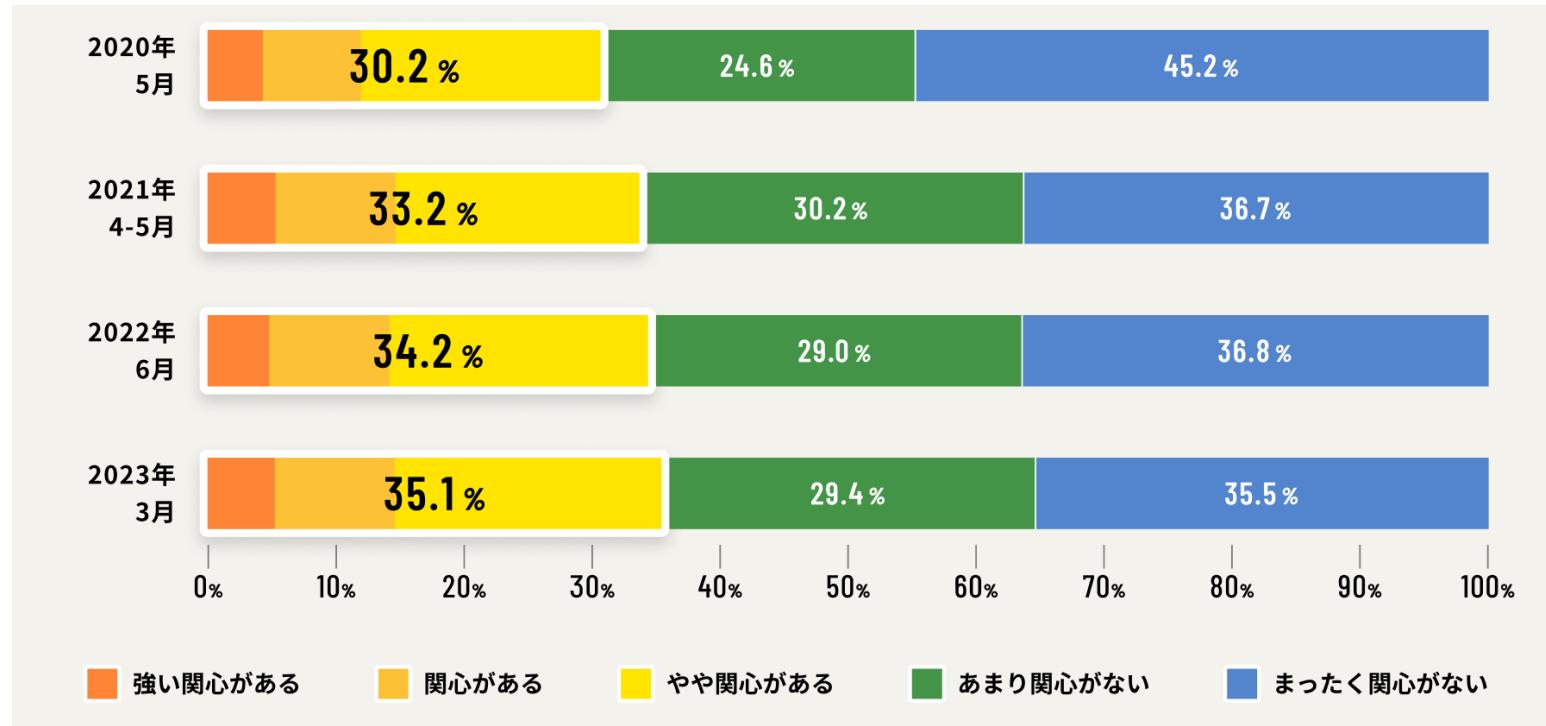
3. 値値観の変化

- ・「働く意味」や「生き方」を見直す人が増加
- ・地方移住やスローライフ志向、サステナビリティへの関心の高まり



4 地方移住への関心拡大

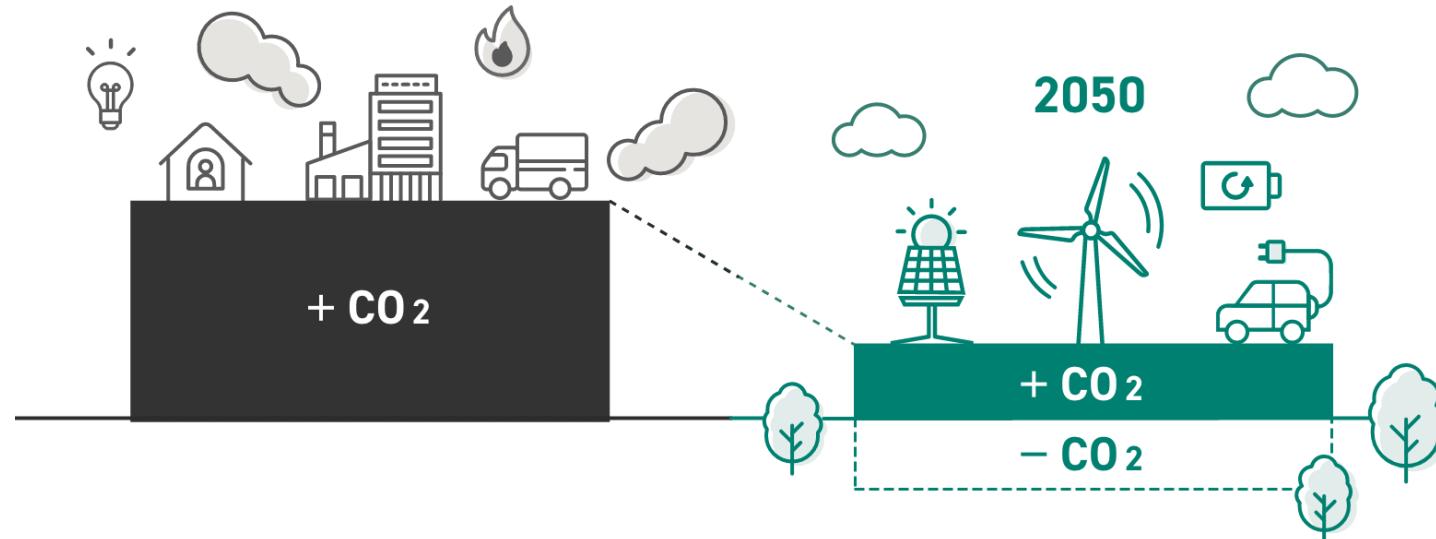
コロナ禍におけるライフスタイルの変化を契機とした地方移住への関心が拡大している。



地方移住への関心（東京圏在住者）
(新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査 より)

5 カーボンニュートラルの推進

2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする
カーボンニュートラルを目指すことを宣言



【ゼロカーボンシティ宣言※】

圏域内の全市町がゼロカーボンシティ宣言

金沢市 : 2020年3月 白山市 : 2021年3月 かほく市 : 2022年3月

野々市市 : 2022年3月 津幡町 : 2022年6月 内灘町 : 2023年2月

※ 「2050年に二酸化炭素を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自らがまたは
地方自治体として公表した地方自治体」

令和7年度第1回石川中央都市圏ビジョン懇談会の主な意見

開催日時：令和7年8月6日（水）16:00～17:00

参加者：三浦 要（金沢大学 理事・副学長）、木林 勉（金城大学 教授）、南 春夫（かほく市商工会 会長）

辻 弘幸（内灘町商工会 会長）、大場 聖一（金沢市農業協同組合 常務理事）

竹中 義和（石川かほく農業協同組合 常務理事）、喜多 悟史（白山市観光連盟 専務理事）

加藤 大勝（北陸鉄道株式会社 代表取締役常務）、山田 泰輔（株式会社北國銀行 公務部長）

中川 一成（金沢市町会連合会 会長）、大谷 まどか（一社）ハートキーパーの会 理事兼事務局長）

上野 弘子（野々市市各種女性団体連絡協議会 会長）、小泉 恭代（津幡地区女性会 会長）、各市町の局部長

主な意見

- ・都市部では地方での雇用や営業所を構えようと考える会社も増えてきていることから企業の誘致を中央都市圏全体で検討してはどうか。
- ・圏域には河北潟という大変貴重で有望な農業地帯があるので、更なる周知のため、PR活動が重要。
- ・近年、観光客、特にインバウンド客が増加してきており、今後も情報共有しつつ広域での魅力アップに努めることが大切。
- ・鉄道については、地元はもちろん観光客にも多く利用いただくため、石川線や浅野川線のPRを強化し、利用促進に努めていく。
- ・石川中央都市圏ビジョン策定から10年が経過する。今後は圏域住民の意識形成、外部への発信力の向上ということを意識しながら、施策の推進を行って欲しい。

石川中央都市圏の将来像

圏域を取り巻く
環境の変化
(新たな要素)

るべき姿

将来像

- 令和6年能登半島地震
- ライフスタイルの変化
- カーボンニュートラルの推進

- 北陸新幹線県内全線開業
- 地方移住への関心拡大

- 豊かな自然と高度な都市機能、双方を保持する圏域
- 地域経済が I C T 等の活用により活性化しているとともに
働く人のワークライフバランスがとれている圏域
- 医療・商業・住宅・子育てなど生活環境が良好で住みつけられる圏域
- 年齢・性別・国籍など問わず、全ての人が、社会的役割を担い活躍する圏域
- 改**○災害対応力を強化することで、持続可能で安全安心な圏域
- 改**○北陸新幹線の県内全線開業により、関係人口や交流人口が増加し
定住人口が維持されている圏域
- 改**○新たなライフスタイルにおいても、人と人との結びつきを大切にし
全ての人が幸せを実感できる圏域
- 新**○カーボンニュートラルの実現に向けた取組を進めていく圏域

都市と自然、仕事と生活が調和する“住みやすさ”日本一の圏域
～交流と連携により、全てのひとが輝き続ける石川中央都市圏～

施策体系

令和6年能登半島地震を教訓とした災害対応力の強化



3本の柱	方向性（連携協約）	新たな要素	具体的取組
圏域全体の経済成長のけん引	I - 1 産学官民一体となった経済成長の推進 ... I - 4 戦略的な観光施策の推進	圏域を取り巻く環境の変化 石川中央都市圏ビジョン懇談会における意見	I - 1 -① 石川中央都市圏ビジョン懇談会の運営 ... I - 4 -② 国際対応力の強化
高次の都市機能の集積・強化	II - 1 高度な医療・救急サービスの提供 ... II - 3 高等教育・研究開発の環境整備	石川中央都市圏首長会議における意見	II - 1 -① 医療・救急サービスの高度化 ... II - 3 -② 研究機関等の環境整備
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	III - 1 地域医療及び介護福祉サービスの充実 ... III - 10 人材の育成とネットワーク構築	新規事業の展開 既存事業の拡充	III - 1 -① 地域医療の広域連携 ... III - 10 -② 多様な人材の活躍推進

今後のスケジュールについて（予定）

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
○次期ビジョンの策定 現行のビジョンの取組成果や課題を総括する。 また、総括を受けて次期ビジョンを策定する				素案の作成			パブリックコメント		次期ビジョン策定
○石川中央都市圏首長会議 次期ビジョン(案)や各分野での連携の推進について、構成市町の首長会議にて協議する。			本日 ★石川県中央都市圏首長会議（8月28日）第1回 ・現行ビジョン成果と課題 ・次期ビジョン（方向性）など		★石川県中央都市圏首長会議（11月）第2回 ・次期ビジョン（素案）		★石川県中央都市圏首長会議（1月）第3回 ・次期ビジョン（案）など		
○石川中央都市圏ビジョン懇談会 学金官民の各団体の代表者からなるビジョン懇談会で、ビジョンの評価・検証及び次期ビジョン策定に向けた検討を行う。			★石川県中央都市圏ビジョン懇談会（8月6日）第1回 ・現行ビジョン成果と課題 ・次期ビジョン（方向性）など		★石川県中央都市圏ビジョン懇談会（11月）第2回 ・次期ビジョン（素案）		★石川県中央都市圏ビジョン懇談会（2月）第3回 ・次期ビジョン（案）など		